

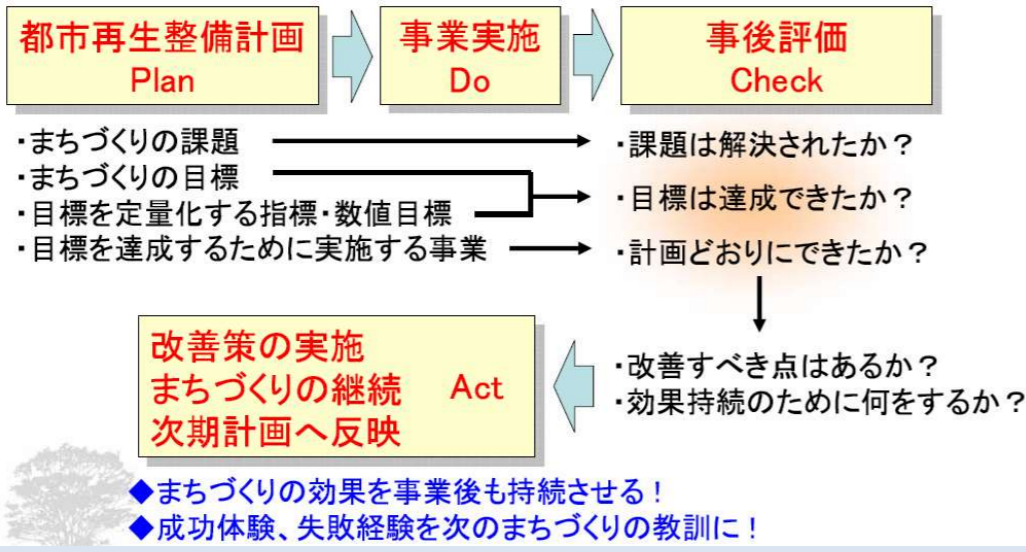
福井まちなか地区都市再生整備計画 事後評価委員会資料

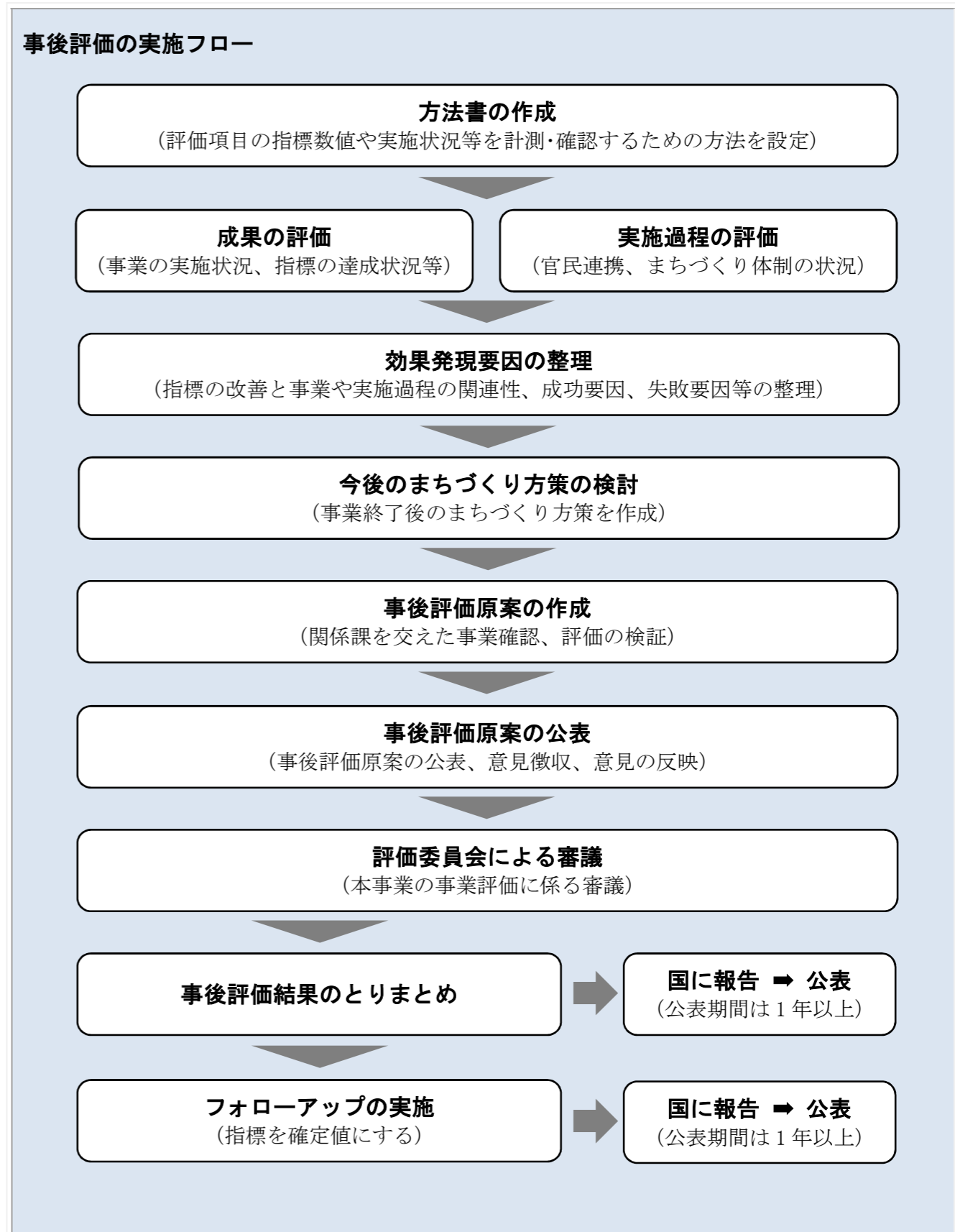
1. 事後評価制度の概要	P 1
2. 都市再生整備計画の概要	P 2
3. 成果の評価（数値目標の達成状況の整理）	P 6
4. 実施過程の評価	P 11
5. 効果発現要因の整理	P 12
6. 今後のまちづくり方策の検討	P 13

令和6年3月

福井市 都市戦略部 都市整備課

1. 事後評価制度の概要

<p>事後評価の位置づけ</p>	<p>事後評価はPDCAサイクルによる事業評価制度の一環として実施されるもので、その後のまちづくりに活かすための作業。</p>  <p>◆まちづくりの効果を事業後も持続させる！ ◆成功体験、失敗経験を次のまちづくりの教訓に！</p>
<p>事後評価の目的</p>	<p>事業がもたらした成果等を客観的に診断して、今後のまちづくりを適正な方向に導くこと、及び事業の成果を住民にわかりやすく説明することを目的とする。</p>
<p>事後評価の内容</p>	<p>① まちづくりの目標の達成状況等の確認！ まちづくりの目標の達成状況、および実施過程の検証を行う。</p> <p>② 今後のまちづくり方策の検討！ まちづくりの目標の達成状況を踏まえ、事業効果の発現要因を整理し、今後のまちづくり方策を検討する。</p> <p>③ 事後評価のチェック！ 事後評価の透明性・合理性・客観性を担保するために、評価結果を市民に公表し、意見を適切に反映すると共に、学識経験者を含む第三者で構成される「評価委員会」を開催し、その審議を経る。</p>
<p>評価委員会の目的</p>	<p>① 事後評価等が適切に遂行されているかの確認と、意見を頂く。</p> <p>② 今後のまちづくり方策等について意見を頂く。</p>



2. 都市再生整備計画の概要

事業概要：都市機能の維持・誘導の取組に加え、北陸新幹線福井開業を見据えながら、広域的な機能を有する施設や都市基盤の整備を行い、市民だけでなく市外からの来訪者にとっても魅力ある空間づくりを進め、交流人口の拡大を目指していく。

従前の課題

- ・核となる施設の整備と併せて、これらが活用できるネットワークの構築が必要
- ・失われつつある古い街並みなどの歴史的資源を活かしたまちづくりが必要
- ・歩道整備やバリアフリー化が不十分であり、安心して歩ける空間の確保が必要
- ・自家用車を利用できない高齢者のため、施設の集約や移動環境の整備が必要
- ・市立図書館は老朽化に加え、高度化・多様化するニーズへの対応が必要

目標

- ・公共交通の利用と連携したまちなか地区の賑わいの再生
- ・歴史資源を活かしたまちなか地区の魅力向上
- ・まちなか地区における生活機能の確保

目標を定量化する指標

- 指標1 歩行者・自転車通行量 (人/日)
- 指標2 公共施設の利用者数 (人/年)
- 指標3 観光施設利用者数 (人/年)



(2) 交付対象事業について

事業種別	事業名	最終計画（第4回変更）				完成状況			
		事業期間		事業費 (百万円)	事業内容	完成	完成 見込み	備考 (R6.3.31時点)	
		開始年度	終了年度						
基幹事業	道路	市道中央1-373号線	R3	R5	65.0	電線共同溝の整備	●	一部次期計画に持ち越し (隣接する民間事業の遅れなどの影響)	
		3・5・68東口南線	R4	R4	13.0	道路改良（一方通行化）	●	令和5年5月に供用開始	
	公園	中央公園	R5	R5	90.0	園路、遊具、人工芝等		●	令和6年度に繰り越し
	地域生活基盤施設	広場（北陸新幹線福井駅東口拡張施設）	H30	R4	394.2	観光交流センター内にオープンスペースや連絡通路の整備	●		令和5年10月に福井市観光交流センターがオープン
		広場（えちぜん鉄道高架下）	R5	R5	20.0	広場整備		●	令和6年度に繰り越し
		自転車駐車場	R2	R5	13.0	自転車駐車場整備	●		令和5年10月に供用開始
		公共サイン	H30	R5	6.0	公共サイン（情報板）の設置	●		—
	高質空間形成施設	福井城址周辺整備	H30	R5	223.5	遊歩道の整備（植栽、カラー舗装、ブロック舗装等）	●		一部次期計画に持ち越し
		市道中央1-625号線、市道中央1-330号線 外3路線	R2	R5	58.5	石畳、カラー舗装、ブロック舗装、照明施設等		●	令和5年度に完成予定 1-330号線の一部を次期計画に持ち越し (隣接する民間事業の遅れなどの影響)
		東口駅前広場	R5	R5	17.0	融雪設備等	●		—
	高次都市施設	北陸新幹線福井駅東口拡張施設	H30	R4	926.5	観光交流センター	●		令和5年10月に福井市観光交流センターがオープン
	既存建造物活用事業 (誘導施設)	教育文化施設（図書館）	H30	R5	1,810.1	地域交流センターとの一体的な整備	●		—
既存建造物活用事業 (高次都市施設)	地域交流センター	H30	R5	437.4	地域交流センターとの一体的な整備	●		—	
提案事業	地域創造支援事業	賑わい拠点化・魅力向上事業	H30	H30	2.5	庭園や広場を活用したライトアップや体験型イベントの実施等	●		平成30年度に事業終了
		回遊性向上事業	H30	H30	20.0	区域内における拠点の資源を活かしたイベントやプロモーション	●		平成30年度に事業終了
		賑わい創出事業	R2	R5	110.0	誘導施設や歴史資源、再開発地区を活用したイベント等	●		—
		福井市版スマートシティ推進事業	R2	R5	25.0	デジタルサイネージやAIチャットボットの導入に向けた実証実験等や施設の導入等	●		一部次期計画に持ち越し (民間事業者の参画を模索)
		まちなかテラス連携事業	R3	R5	60.0	北陸新幹線開業イベント等と連携したまちなかオープンスペースの活用	●		—
		まちなかレンタサイクル事業	H30	R4	29.3	観光交流センターにおけるレンタサイクルスペースの設置	●		令和5年10月に福井市観光交流センター内に設置
	事業活用調査	事業活用調査	H30	R5	8.0	指標のモニタリング及びその他必要な調査、事後評価	●		—
	まちづくり活動 推進事業	民間まちづくり活動支援事業	H30	H30	1.0	民間まちづくり団体等へのまちづくり活動の支援	●		—
		県都の顔づくり推進事業	R2	R5	12.0	民間事業者が実施するまちづくり活動への支援（ハード事業）	●		—
まちなか空間活用事業		R2	R5	1.1	公共空間や空き店舗を活用する民間まちづくり団体への支援	●		—	
関連事業	北陸新幹線建設事業、福井駅付近連続立体交差事業、福井駅周辺土地区画整理事業、優良建築物等整備事業、市街地再開発事業、道路事業								



▲道路：市道中央 1-373 号線



▲高質空間形成施設：市道中央 1-625 号線



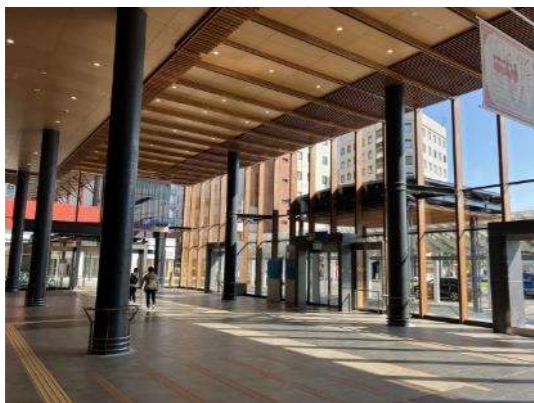
▲道路：3・5・68 東口南線



▲高質空間形成施設：東口駅前広場



▲高質空間形成施設：市道中央 1-330 号線



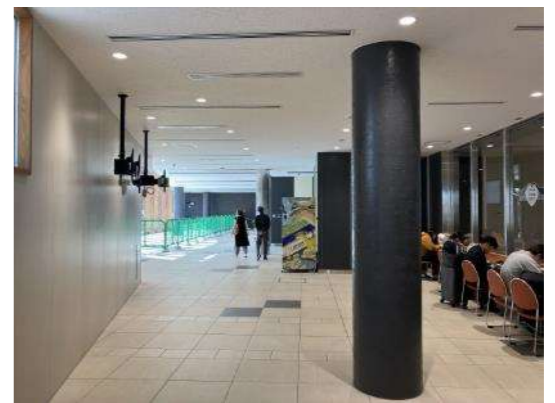
▲地域生活基盤施設
広場（北陸新幹線福井駅東口拡張施設）



▲地域生活基盤施設：自転車駐車場



▲高次都市施設：北陸新幹線福井駅東口拡張施設



▲地域生活基盤施設：公共サイン



▲高質空間形成施設：福井城址周辺整備



▲既存建造物活用事業（誘導施設）
教育文化施設（図書館）



▲既存建造物活用事業（高次都市施設）
地域交流センター



▲地域創造支援事業：回遊性向上事業



▲地域創造支援事業
まちなかレンタサイクル事業



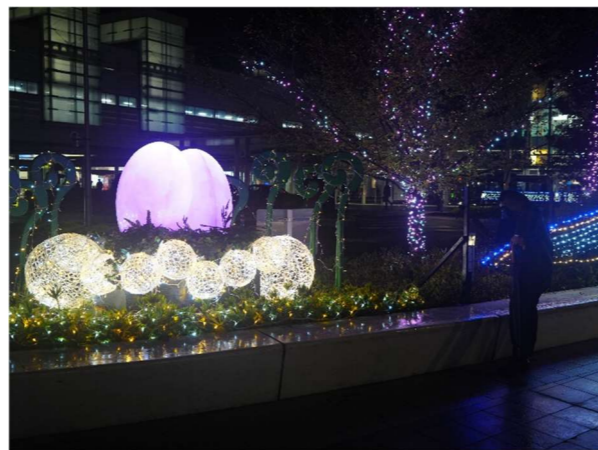
▲地域創造支援事業：まちなかテラス連携事業



▲まちづくり活動推進事業：民間まちづくり活動支援事業



▲地域創造支援事業：賑わい創出事業



▲まちづくり活動推進事業：まちなか空間活用事業



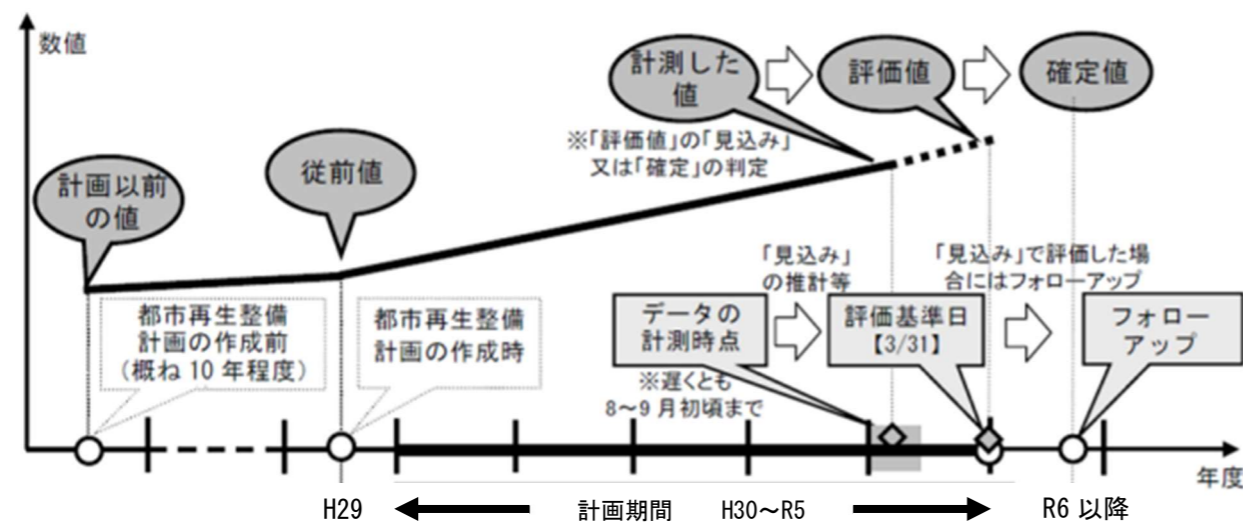
3. 成果の評価（数値目標の達成状況の整理）

指標	単位	従前値 (基準年度)	目標値 (基準年度)	評価値 (目標年度)		目標 達成度
				確定	見込み	
指標1 歩行者・自転車通行量	人/日	32,334 (H29)	37,500 (R6)	39,298 (R7.3)	確定	○
指標2 公共施設の利用者数	人/年	491,150 (H28)	584,455 (R6)	571,818 (R7.3)	確定	△
					見込み	
指標3 観光施設利用者数	人/年	157万 (H28)	159万 (R6)	203万 (R7.3)	確定	○
					見込み	

■目標達成度の評価の基準

目標達成度の評価の基準	達成度
評価値が目標値を上回った場合	○
評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合	△
評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善が見られない場合	×

■評価基準日の考え方



指標1：歩行者・自転車通行量

従前値 (H29)	目標値 (R6)	評価値 (R7.3)	目標 達成度	1年以内の 達成見込
32,334 人/日	37,500 人/日	39,298 人/日	○	—

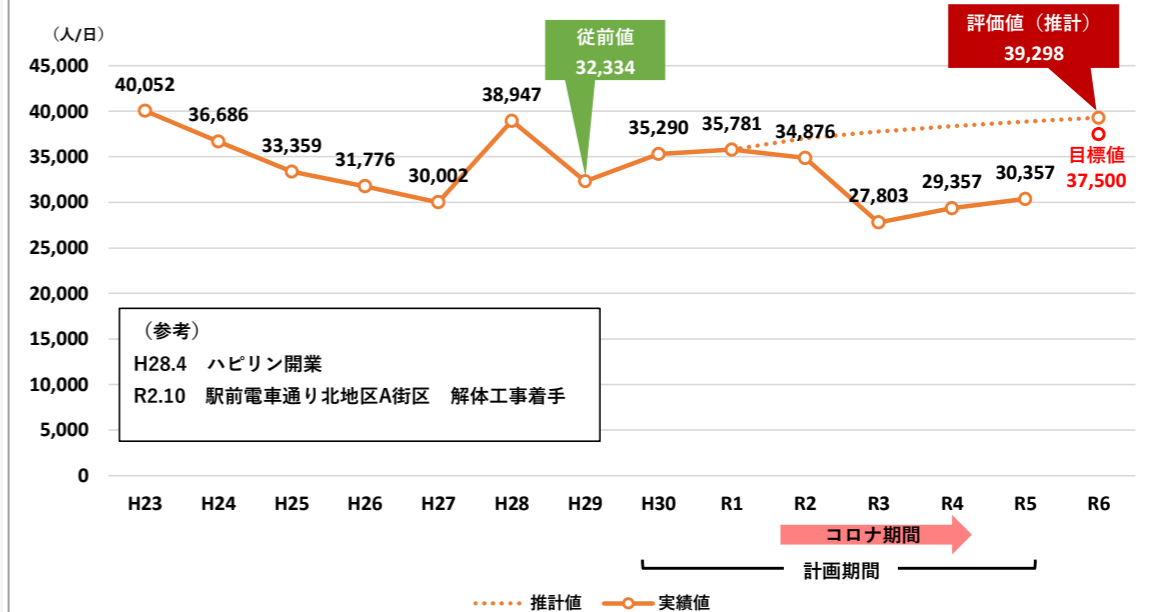
指標の定義	中心市街地内の10地点における歩行者・自転車通行量（7月・10月（平日及び休日）の平均）
評価値の求め方	評価値（R6年度）は事業計画期間中の推移を参考に推計する。

【目標達成度】

歩行者・自転車通行量を推計した結果（次頁の「評価値の求め方」を参照のこと）、評価値は39,298人/日となり、目標値を上回ったため、目標達成度は「○」とする。

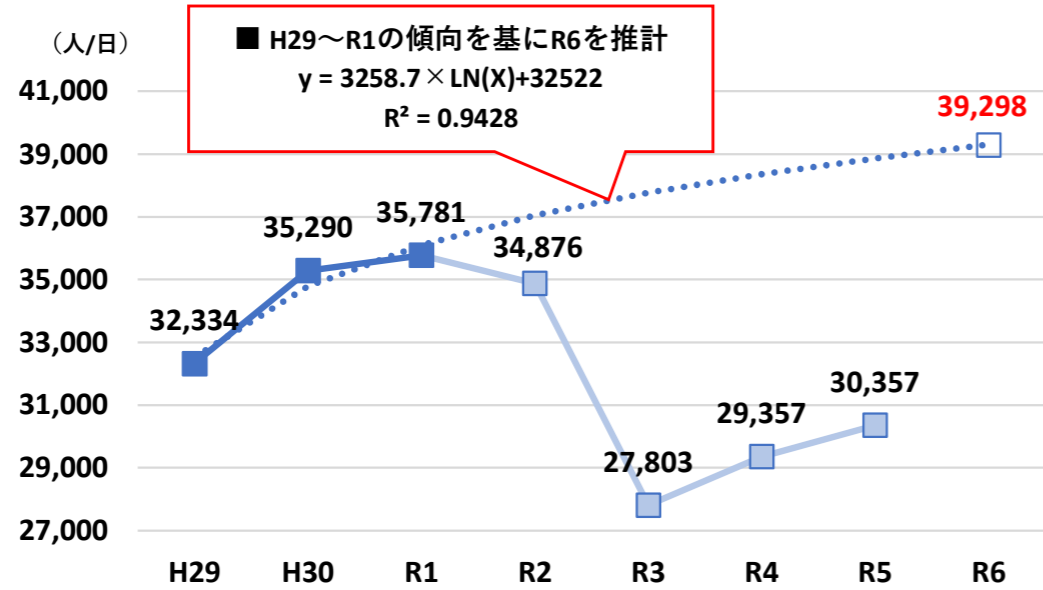
ハピリン開業以降、H29年度に通行量は一旦落ち込んだが、賑わい創出に向けて様々なイベント等を実施したことにより通行量は増加に転じた。しかし、R2年度以降は、コロナの影響により減少に転じ、R3年度以降では駅前電車通り北地区A街区解体工事の影響も重なり著しく通行量が減少したが、コロナによる行動自粛期間を除きイベント等を継続的に実施してきたため、これらの影響がなければ増加傾向が継続していたと推測する。

目標達成度
等に関する
検証



(参考) 評価値の求め方

・駅前電車通り北地区A街区解体工事やコロナの影響により通行量が大幅に減少したR2年度以降のデータは用いず、H29～R1年度のトレンドを基にR6年度の通行量を推計する。



目標達成度等に関する検証

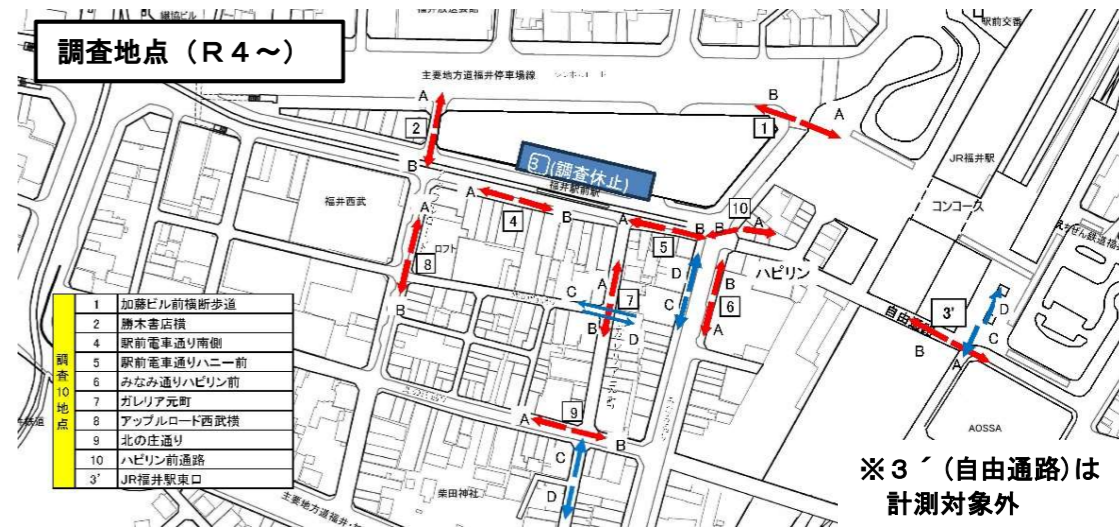
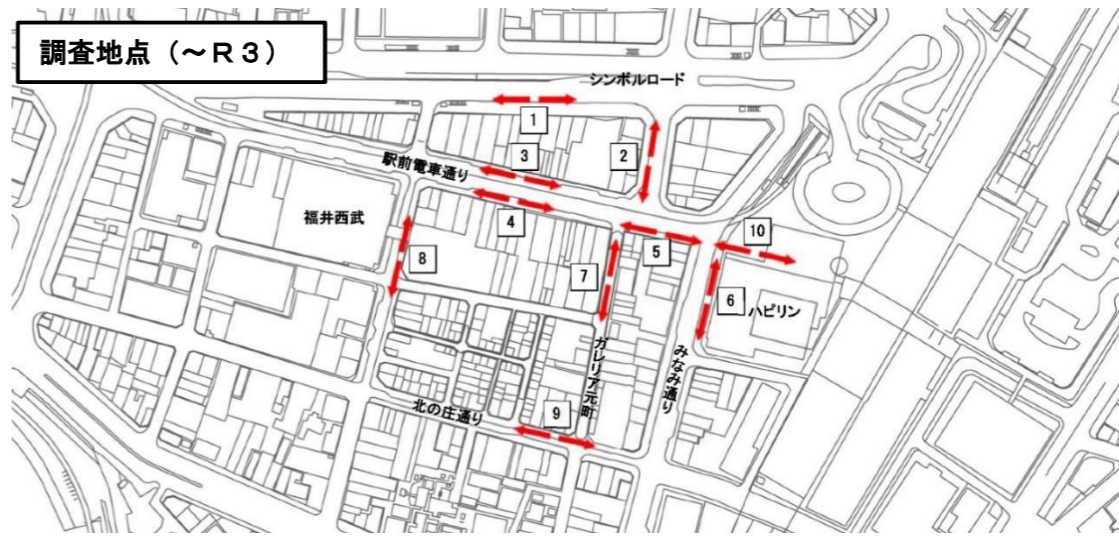
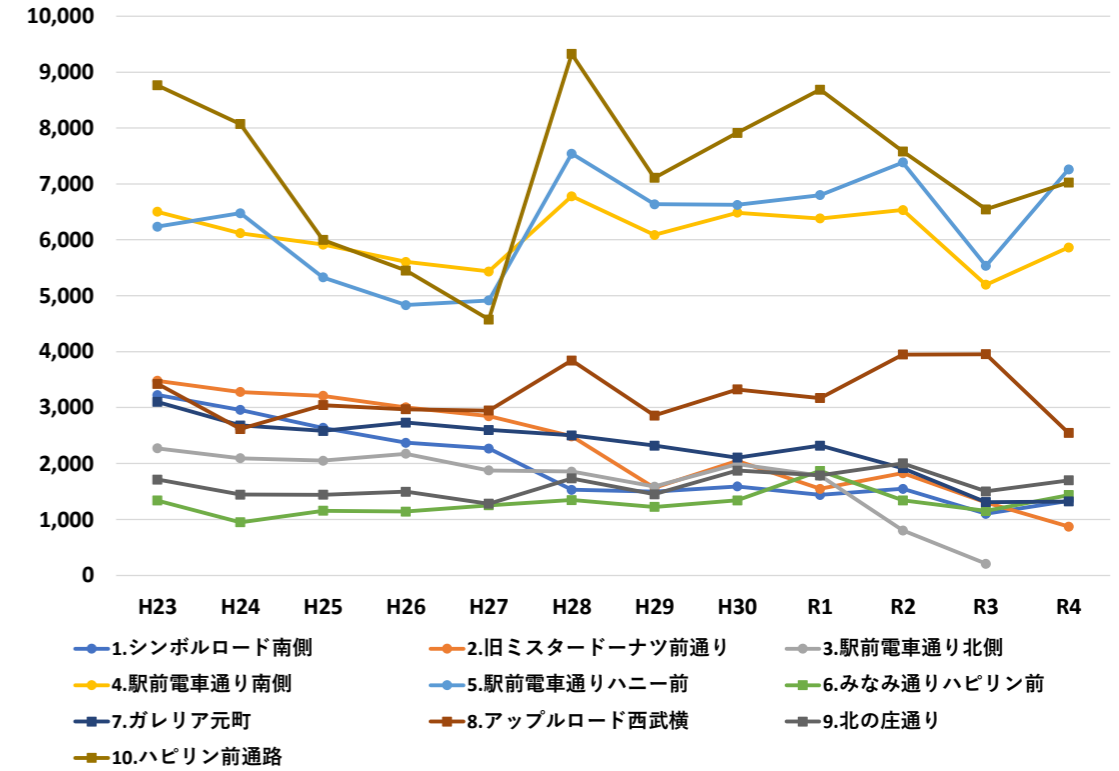
(参考) 調査地点別の傾向

R3年度の通行量が全体的に大幅に減少している要因としては、コロナ禍であり、なおかつ調査日が大雨であったことが影響しているものと推察される。

R4年度は、多くの地点が増加している中で地点8は大幅に減少している。これは西武新館の閉館が大きく影響していると推察される。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
1.シンボルロード南側	3,224	2,960	2,637	2,369	2,268	1,532	1,500	1,590	1,438	1,548	1,100	1,334
2.旧ミスタードーナツ前通り	3,479	3,278	3,210	3,005	2,847	2,487	1,563	2,046	1,546	1,829	1,303	873
3.駅前電車通り北側	2,272	2,093	2,050	2,173	1,875	1,855	1,586	1,987	1,782	803	206	—
4.駅前電車通り南側	6,501	6,117	5,914	5,605	5,436	6,782	6,086	6,485	6,382	6,533	5,198	5,865
5.駅前電車通りハニー前	6,237	6,477	5,327	4,833	4,915	7,541	6,638	6,627	6,802	7,383	5,532	7,261
6.みなみ通りハビリン前	1,338	950	1,158	1,141	1,254	1,346	1,224	1,342	1,868	1,339	1,152	1,436
7.ガレリア元町	3,100	2,679	2,583	2,735	2,602	2,502	2,318	2,102	2,318	1,916	1,312	1,320
8.アップルロード西武横	3,425	2,618	3,045	2,968	2,949	3,842	2,859	3,324	3,170	3,946	3,954	2,544
9.北の庄通り	1,713	1,444	1,440	1,497	1,281	1,735	1,451	1,874	1,788	2,000	1,501	1,698
10.ハビリン前通路	8,763	8,071	5,997	5,450	4,577	9,327	7,109	7,914	8,687	7,581	6,547	7,028
合計	40,052	36,686	33,359	31,776	30,002	38,947	32,334	35,290	35,781	34,876	27,803	29,357

目標達成度等に関する検証



指標 2 : 公共施設の利用者数

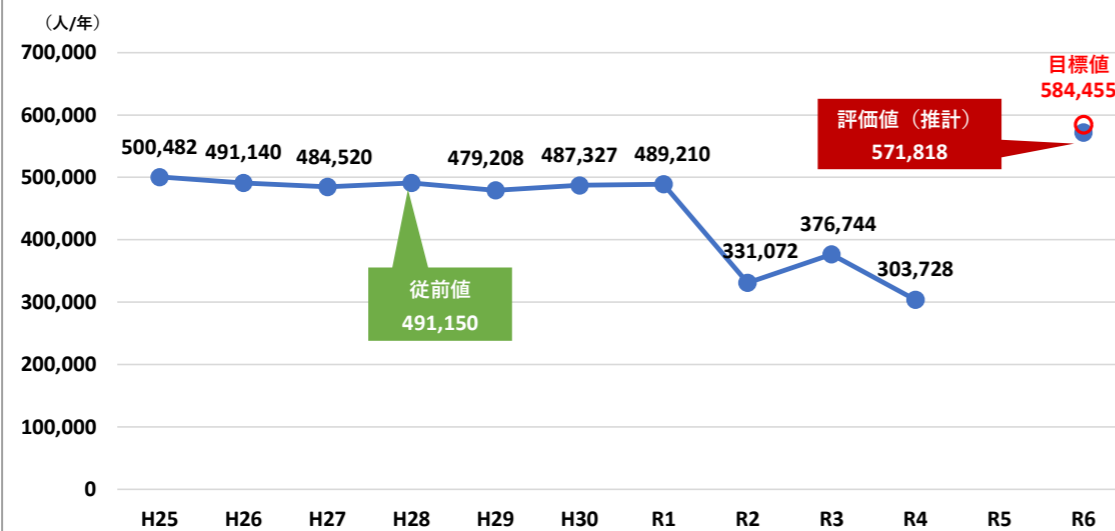
従前値 (H28)	目標値 (R6)	評価値 (R7.3)	目標 達成度	1年以内の 達成見込
491,150 人/年	584,455 人/年	571,818 人/年	△	有

指標の定義	中心拠点区域における図書館（桜木図書館、市立図書館、市立移動図書館）の利用者数
評価値の 求め方	評価値（R6年度）は、「桜木図書館及び市立移動図書館」「市立図書館」それぞれを事業計画期間中の推移を参考に推計し、合算する。

【目標達成度】

公共施設の利用者数を推計した結果（右側の「評価値の求め方」を参照のこと）571,818 人となり目標値を達成できなかった。一方で、従前値は上回っていることから改善が見られると判断し、目標達成度は「△」とする。

ただし、今回の評価は、市立図書館が閉館している期間に行ったものであり、事業効果を適切に推測することが難しかったため、リニューアルオープン後に実施するフォローアップで改めて事業効果を検証する必要がある。



【1年以内の達成見込み】

リニューアルオープンの周知や図書館で開催するイベントの充実により、市立図書館の入館者数が市の想定する見込値 262,000 人に達すると仮定した場合、評価値は 646,480 人と目標値を超えるため、1年以内の達成見込みは「有」とする。

目標達成度
等に関する
検証

(参考) 評価値の求め方

公共施設（桜木図書館、市立移動図書館、市立図書館）の利用者数の推計方法は以下の通り。

① 桜木図書館、市立移動図書館の推計

- ・桜木図書館、市立移動図書館の推計値は、双方の利用者数に直接影響する事業は実施していなかったが、福井市観光交流センターや東口広場の整備などが行われた効果により過去10年間における最多の利用者数と仮定する。
- ・以上より、R6年度の利用者数は下記の通りとなる。
桜木図書館（H26年度）：324,466 人
市立移動図書館（H28年度）：13,394 人

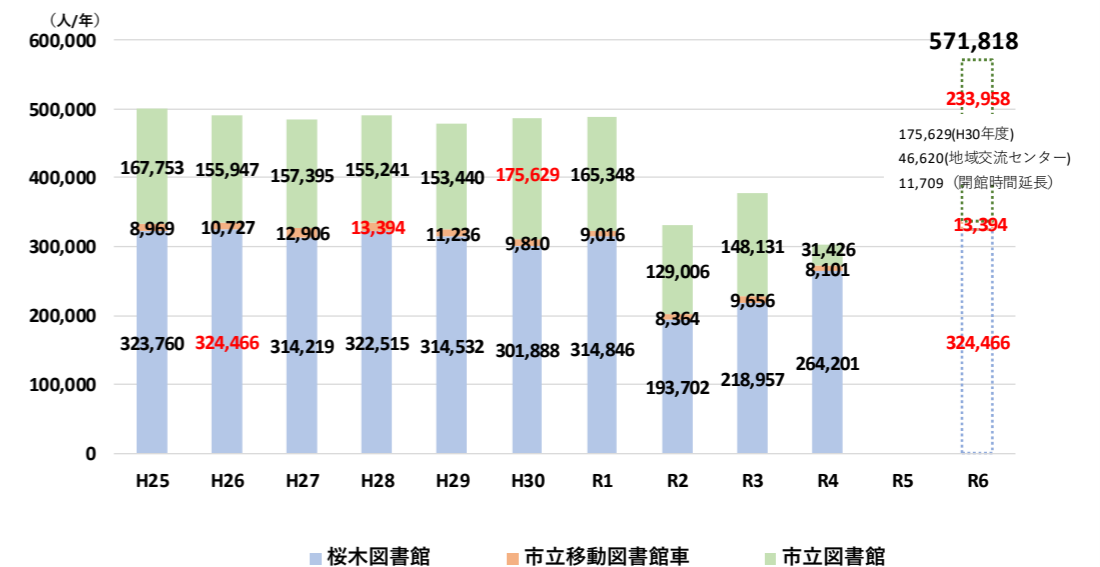
② 市立図書館の推計

- ・市立図書館はリニューアル工事に伴いR4～R5年度にかけて一時的に閉館し、代わって田原町ミニ図書館が設置されているが、利用者の規模が大きく異なるため、直近の傾向を用いた推計は難しい。
- ・そのため、R6年度の市立図書館の利用者数は、リニューアル効果を見越して、過去10年間（H25～R4年度）における最多の利用者数（H30年度：175,629 人…A）と仮定する。
- ・さらにそこに、リニューアル後に併設される地域交流センターの利用効果及びリニューアル後の開館時間の延長効果を見込むこととする。
- ・以上より、R6年度の利用者数は下記の通りとなる。
R6年度の地域交流センターの利用者数見込み値（市設定）：46,620 人…B
リニューアル後の市立図書館の開館時間延長効果
開館時間の変化率（週間）： $52 \text{ 時間 (リニユ後)} / 48.75 \text{ 時間 (リニユ前)} = 1.0667$
利用者増加数： $(\text{H30年度実績} \times 1.0667) - (\text{H30年度実績}) = 11,709 \text{ 人}$ …C
市立図書館： $A + B + C = 233,958 \text{ 人}$

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
桜木図書館	323,760	324,466	314,219	322,515	314,532	301,888	314,846	193,702	218,957	264,201
市立移動図書館車	8,969	10,727	12,906	13,394	11,236	9,810	9,016	8,364	9,656	8,101
市立図書館	167,753	155,947	157,395	155,241	153,440	175,629	165,348	129,006	148,131	31,426
合計	500,482	491,140	484,520	491,150	479,208	487,327	489,210	331,072	376,744	303,728

※R4～R5年度：市立図書館 ⇒ 田原町ミニ図書館

評価値（R6年度） ① + ② = 571,818 人



目標達成度
等に関する
検証

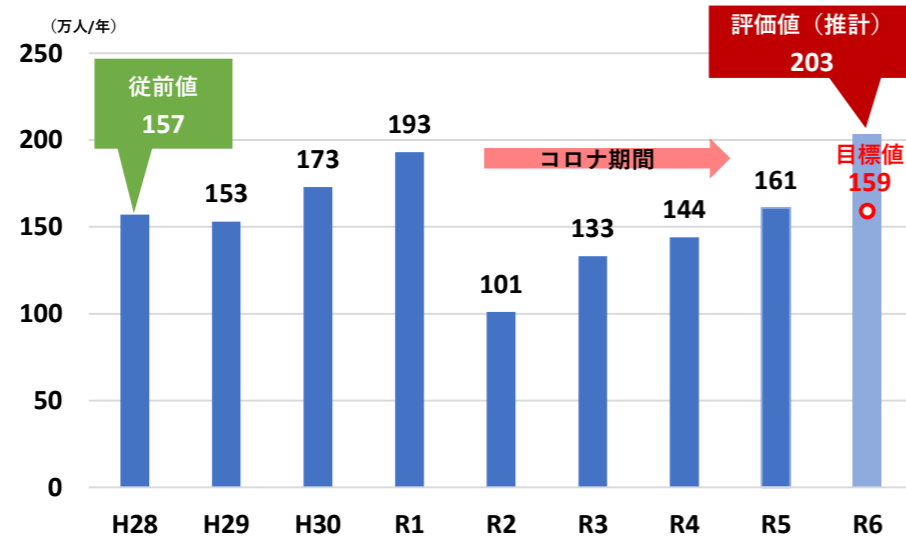
指標3：観光施設利用者数

従前値 (H28)	目標値 (R6)	評価値 (R7.3)	目標 達成度	1年以内の 達成見込
157万人/年	159万人/年	203万人/年	○	—

指標の定義	まちなか地区における主要観光施設利用者数
評価値の 求め方	評価値（R6年度）はH28～R元年度のトレンドを基に推計する。

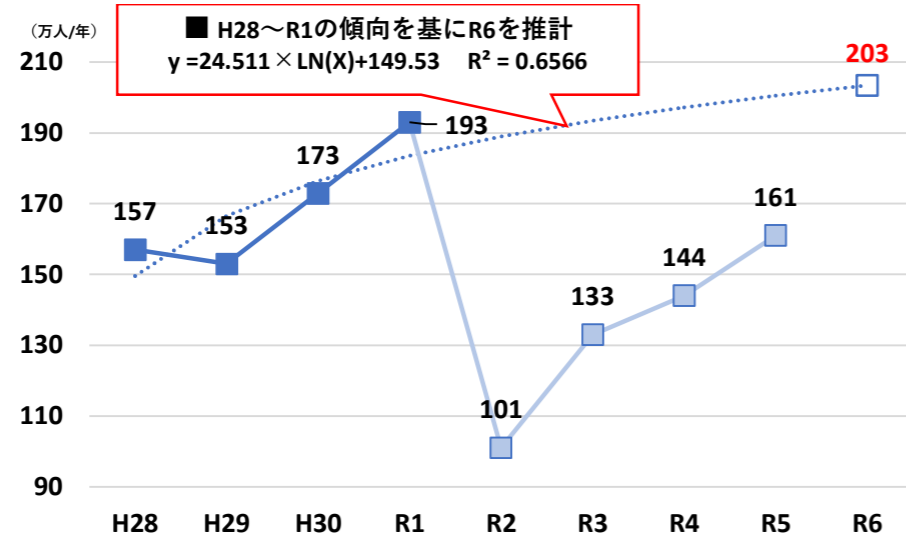
【目標達成度】

R6年度を推計した結果（下記の「評価値の求め方」を参照のこと）、203万人/年となり、目標値159万人/年を上回ったため、目標達成度は「○」とする。



（参考）評価値の求め方

・コロナの影響により利用者数が大幅に減少したR2年度以降のデータは用いず、H28～R元年度のトレンドを基にR6年度の利用者数を推計する。



目標達成度
等に関する
検証

（参考）対象としている観光施設

①市街地施設（施設利用者数）

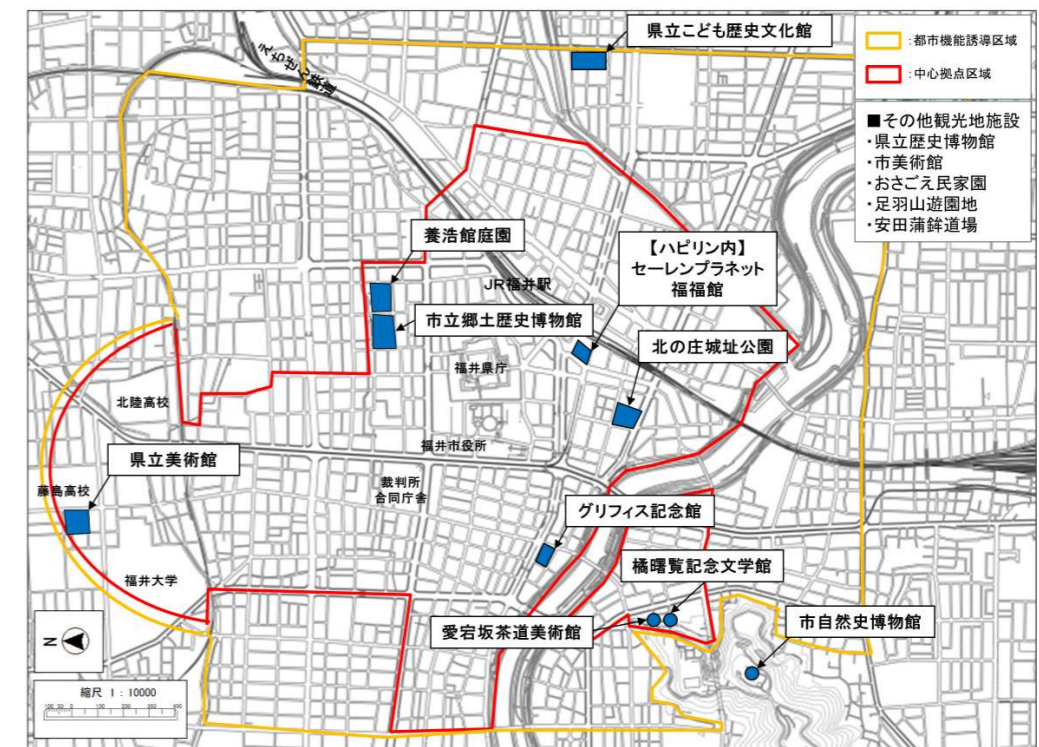
- ・橘曙覧記念文学館
- ・養浩館庭園
- ・市立自然史博物館
- ・北の庄城址公園
- ・安田蒲鉾道場
- ・グリフィス記念館
- ・愛宕坂茶道美術館
- ・市立郷土歴史博物館
- ・県立美術館
- ・足羽山遊園地
- ・セーレンプラネット
- ・おさごえ民家園
- ・市立美術館
- ・県歴史博物館
- ・県立子ども歴史文化館
- ・福福館

②市街地買い物

- ・市街地施設の82%（まちなかの来街者数等から係数を設定）
※市街地施設…中心市街地の買物客数

まちなか地区の観光客入込客数 = ① + ②

■観光施設の所在図



目標達成度
等に関する
検証

定性的な効果発現状況

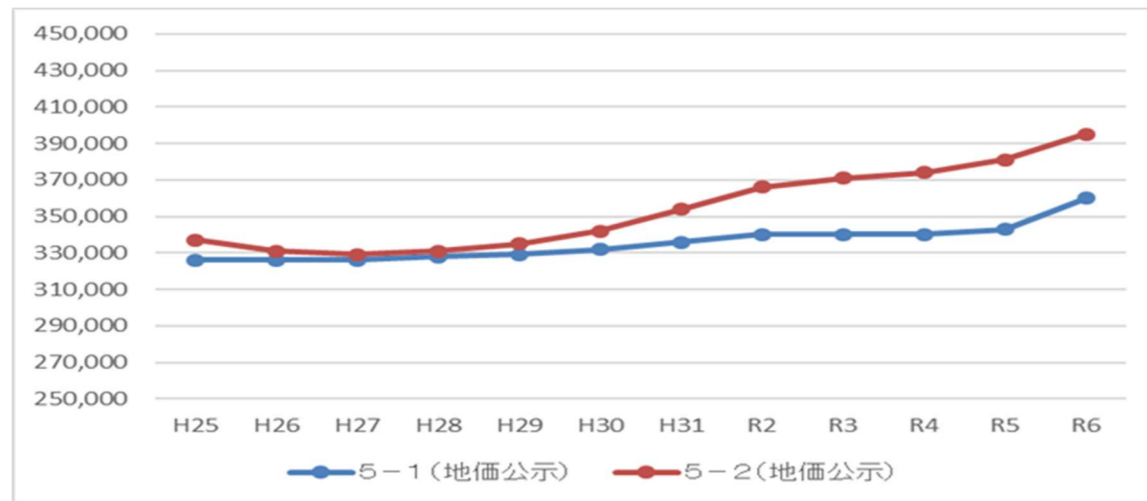
駅周辺で実施されてきた各種事業の進展や北陸新幹線金沢・敦賀間開業への期待感の高まりなどを背景に、以下のような動きが生まれている。

■ 地価の上昇

- ・駅周辺部の地価は平成 27 年以降に上昇傾向に転じ、その傾向が維持されている。

【調査地点(位置は下図を参照のこと)】

福井 5-1：大手 2 丁目 6-1 福井 5-2：中央 1 丁目 9-27



■ 市街地再開発事業の進展

- ・中心市街地の活性化や都市の競争力強化に向けて、福井駅周辺では人件費や資材の高騰によって計画の遅れは見られるが、以下に示す再開発事業等が進められている。



■ 福井版ほこみち制度「ふくみち」の実施

- ・福井市では、訪れる人や通勤・通学者にとって、より快適な歩行者空間を創出するため、歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）制度の導入に向けて令和 3 年度より社会実験を進めている。
- ・社会実験では、中央大通りや県庁線の一部の区間を使って、キッチンカーやカフェ、くつろぎの場所、ライブ会場など、市民の憩いやにぎわいを創出する空間を期間限定で設置し、来訪者や出店者のニーズの把握、民間活力の導入可能性の検証などに取り組んでいる。
- ・令和 3 年 10 月の社会実験には 1 万人を超える来場者が訪れ、中心市街地に賑わいをもたらしている。

【これまでの経過】

- 令和 3 年 10 月 2 日(土) ～ 同年 10 月 17 日(日)
- 令和 4 年 2 月 21 日(月) ～ 同年 2 月 25 日(金)
- 令和 4 年 6 月 1 日(水) ～ 同年 6 月 17 日(金)
- 令和 4 年 10 月 5 日(水) ～ 同年 10 月 21 日(金)
- 令和 5 年 6 月 21 日(水) ～ 同年 6 月 30 日(金)
- 令和 5 年 8 月 2 日(水) ～ 同年 9 月 1 日(金)



▲社会実験の様子 (出典 福井市 HP)

4. 実施過程の評価

官民連携による取組

福井市立図書館のリニューアルに向けたワークショップ

福井市立図書館のリニューアルに向けて、中学生、高校生、大学生、一般を対象としたワークショップを開催し、いただいた意見や要望を施設計画に反映した。

	開催日	参加者数	内容
第1回	平成30年6月23日(土)	10名	・現在の市立図書館の良い点・改善点 ・リニューアル後に期待すること
第2回	平成30年7月14日(土)	22名	・リニューアル後の市立図書館のあり方



▲ワークショップの様子
(出典 福井市立図書館リニューアル事業基本計画)

官民連携による取組

民間企業と連携した賑わいづくり

本地区内では、様々な民間企業が主体となって、本計画の提案事業を活用した多種多様なイベントの開催や、集客拠点での各種企画が展開された。

◆福井放送(株)

- ・越前ふくいマルシェの企画運営
- ・おいしいふくい博の企画運営

◆福井エフエム放送(株)

- ・観光交流センターオープニングセレモニーの企画運営
- ・まちなかdeランウォークの企画運営

◆(株)福井テレビ開発

- ・セーレンプラネットで開催するイベント等の企画運営
(運営グループの代表企業として)

◆(株)福井新聞

- ・まちなか「アオハル」プロジェクトの広報



▲越前ふくいマルシェ [中央公園]
(出典 福井市資料)



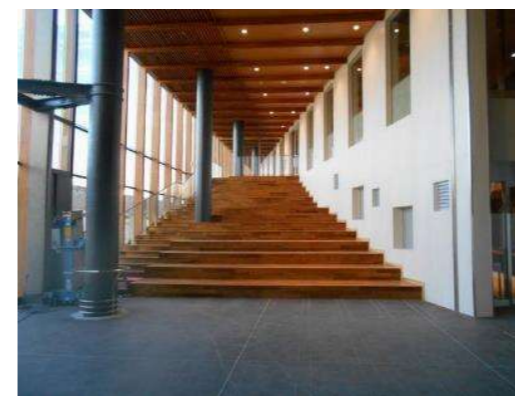
▲観光交流センターオープニングセレモニー
(出典 福井市資料)

持続的なまちづくり体制

まちづくり福井株式会社

まちづくり福井株式会社は、平成12年2月にタウンマネジメントを担う市の第三セクターとして設立されて以降、中心市街地活性化の担い手として、イベント企画、施設運営、各種調査などの様々な取り組みを行っており、平成25年4月には都市再生推進法人の指定を受けている。

令和5年10月からは、福井駅東口に新たに誕生した福井市観光交流センターの指定管理者となり、同様に指定管理を行う福井市にぎわい交流施設(ハピテラス・ハピリンホール)を含めた福井駅周辺の拠点施設の運営に取り組んでいる。また、令和4年度には民間からの資本を増やし、エリアマネジメントを担う組織としての機能を強化している。



▲福井市観光交流センター
[屋内広場・階段広場]
(出典 福井市 HP)



▲福井市にぎわい交流施設
[ハピテラス]
(出典 福井市にぎわい交流施設 HP)

持続的なまちづくり体制

一般社団法人 EKIMAE MALL

一般社団法人 EKIMAE MALL は、平成28年9月に設立して以降、福井駅周辺全体をひとつのショッピングモールに見立て、共同販促やテナント誘致、イベント開催、フリーペーパー作成などによる誘客、にぎわいの創出に取り組んでいる。

令和元年度からは『学生まちづくり班』と称して、大学生や高校生が実現したい活動を後押しし、まちの成長とまちに関わる人材の育成につなげるため、学生たちのアイデアを県内のまちづくりプレイヤーや有識者らがサポートし、実行につなげる取り組みを(株)福井新聞社と協働して進めている。

▲ストリートパラダイス 2021
[中学生、高校生限定の高架下を
活用したストリートイベント]
(出典 福井県まちづくりセンターHP)



5. 効果発現要因の整理

目標と指標の関連性	公共交通の利用と連携したまちなか地区の賑わいの再生 歴史資源を活かしたまちなか地区の魅力向上 まちなか地区における生活機能の確保	✓ ✓ ✓	✓ ✓ ✓	✓ ✓ ✓				
目標達成度	○: 評価値が目標値を上回った場合 △: 評価値が目標値に達していないが、近年の傾向より改善している場合 ×: 評価値が目標値に達しておらず、近年の傾向よりも改善が見られない場合	指標1 歩行者・自転車通行量 ○	指標2 公共施設の利用者数 △	指標3 観光施設利用者数 ○				
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	影響度の考え方	指標未達成への影響度	影響度の考え方	指標改善への貢献度	影響度の考え方	
交付対象事業	道路: 市道中央1-373号線	完成	○	・歩行者ネットワークや駐輪場、レンタサイクルが完成したことで通行量の増加に間接的に貢献したと考え「○」 (ただし、歩行者ネットワークは、民間事業の遅れに伴い、当初予定していた内容で整備できなかったものもある) ・まちなかで開催された各種イベントの集客効果が、通行量の増加に間接的に貢献したと考え「○」 ・令和5年10月にオープンした観光交流センター(屋内広場を含む)や他事業と連携して整備した東口駅前広場の完成が、通行量の増加に間接的に貢献したと考え「○」 ・令和6年に工事繰り越しとなった中央公園や中央1-330号線の整備など、未完成事業があり期待していた効果が発揮できていないと考え「△」 ・なお、事業によっては、市街地再開発事業の工事着工や、新型コロナウイルス感染症の影響によって、期待していた事業効果が十分に発揮できていないことが推察される	-	・福井市立図書館のリニューアルや併設される地域交流センターの整備が計画期間の後半となり、期待していた事業効果が発揮できていないが、併設された地域交流センターの活用など、1年以内の目標達成が見込めるため「△」 ・まちなかで開催された各種イベントの集客効果が、コロナ禍以降の桜木図書館の利用者数の回復に貢献したと考え「△」 ・目標未達成の外的要因として、計画期間中に発生した新型コロナウイルス感染症の影響のほか、リニューアル工事期間中の市立図書館の休館の影響も考えられる	○	・まちなかで開催された各種イベントの集客効果が、観光施設利用者数の増加に直接的に貢献したと考え「◎」 ・歩行者ネットワークや駐輪場、レンタサイクルが完成し、観光施設へのアクセス性が向上したことが利用者数の増加に間接的に貢献したと考え「○」 ・令和5年10月にオープンした観光交流センター(屋内広場を含む)や他事業と連携して整備した東口駅前広場の完成が、間接的に貢献したと考え「○」 ・令和6年に工事繰り越しとなった中央公園や中央1-330号線の整備など、未完成事業があり期待していた効果が発揮できていないと考え「△」
	道路: 3・5・68東口南線	完成	○		-		○	
	公園: 中央公園	完成見込み(R6)	△		-		△	
	地域生活基盤施設: 広場(北陸新幹線福井駅東口拡張施設)	完成	○		-		○	
	地域生活基盤施設: 広場(えちぜん鉄道高架下)	完成見込み(R6)	△		-		△	
	地域生活基盤施設: 自転車駐車場	完成	○		-		○	
	地域生活基盤施設: 公共サイン	完成	○		-		○	
	高質空間形成施設: 福井城址周辺整備	完成	○		-		○	
	高質空間形成施設: 市道中央1-625号線、市道中央1-330号線	完成見込み(R5)	△		-		△	
	高質空間形成施設: 東口駅前広場	完成	○		-		○	
	高次都市施設: 北陸新幹線福井駅東口拡張施設	完成	○		-		○	
	既存建造物活用事業(誘導施設): 教育文化施設(図書館)	完成	-		△		-	
	既存建造物活用事業(高次都市施設): 地域交流センター	完成	-		△		-	
	地域創造支援事業: 賑わい拠点化・魅力向上事業	完成	○		△		◎	
	地域創造支援事業: 回遊性向上事業	完成	○		△		◎	
	地域創造支援事業: 賑わい創出事業	完成	○		△		◎	
	地域創造支援事業: 福井市版スマートシティ推進事業	完成	○		-		○	
	提案	地域創造支援事業: まちなかテラス連携事業	完成		○		△	
地域創造支援事業: まちなかレンタサイクル事業		完成	○	-	○			
事業活用調査: 事業効果分析調査		完成	-	-	-			
まちづくり活動推進事業: 民間まちづくり活動支援事業		完成	○	△	◎			
まちづくり活動推進事業: 県都の顔づくり推進事業		完成	△	-	△			
まちづくり活動推進事業: まちなか空間活用事業		完成	○	△	◎			
関連	福井駅付近連続立体交差事業	○	○	-	○			
	福井駅周辺土地区画整理事業	○	○	-	○			
	優良建築物等整備事業	○	○	-	○			
	市街地再開発事業	△	△	-	△			
	道路事業	-	-	×	-			

指標改善への貢献度(達成度が○の場合)

- ◎ 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した
- 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した
- △ 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった
- 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない

- ×× 事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できなかった直接的な原因となった
- × 事業が効果を発揮できず、指標の目標を達成できなかった間接的な原因となった
- △ 目標は達成していないが、指標の改善には貢献した
- 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない

総合所見	歩行者ネットワークや駐輪場の整備によるアクセス性の向上、まちなかで開催された各種イベントの集客効果が主な要因となって目標を達成した。 一方で、市街地再開発事業の工事着工、新型コロナウイルス感染症、対象事業の完成が計画期間の後半に集中したことの影響で、期待していた事業効果を十分に発揮できていない面があるため、今後は更なる事業効果の発現が期待される。	福井市立図書館のリニューアルオープンが計画期間の後半となり、期待していた事業効果を十分に発揮できなかったことが主な原因となって目標未達成となった。 ただし、駅前に立地する桜木図書館は、各種イベントの効果によって回復傾向にある。また、今後、福井市立図書館のリニューアルの周知やイベントの充実、地域交流センターの活用が図られれば、目標の達成が期待される。	まちなかで開催された各種イベントの集客効果、歩行者ネットワークの整備などに伴うアクセス性の向上が主な要因となって目標を達成した。 一方で、事業完成が計画期間の後半となり、期待していた事業効果を十分に発揮できていない面があるため、今後は更なる事業効果の発現が期待される。
------	---	--	---

今後の方針	令和6年3月に開業する北陸新幹線の利用者をまちなかの回遊に誘うため、現在進行中の各種プロジェクトの早期完成を目指すとともに、歩行者ネットワークの充実、イベントなどによる賑わい創出に引き続き取り組む。	リニューアルした福井市立図書館に新しく地域交流センターが併設された利点を広報し、利用促進を図るとともに、まちなかで生活・交流するために必要な機能の充実に引き続き取り組む。	令和6年3月に開業する北陸新幹線の利用者を観光施設に誘導するため、歩行者ネットワークなどの環境づくりや、イベントなどの仕掛けづくりに引き続き取り組む。
-------	---	---	---

6. 今後のまちづくり方策の検討

都市再生整備計画の課題	達成状況	継続・改善の基本方針	想定される事業	
公共交通の利用と連携した まちなか地区の賑わいの再生	達成されたこと	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年10月に福井駅東口の新幹線駅舎に併設して福井市観光交流センターがオープンし、情報発信や交流の拠点が形成された（観光案内所は新幹線開業に合わせてオープン予定）。 まちなかの歩行者ネットワークや駐輪場の一部、公共サイン、レンタサイクルスペースが完成し、徒歩や自転車による快適な移動環境が整った。 コロナ禍以降に、民間の団体や企業による多様なイベントが開催され、様々な年代の参加者が中心市街地に集った。 	<ul style="list-style-type: none"> 完成した施設など自ら情報発信するとともに、利用者、来街者目線で不足している事項を補完していく。 官民が連携し、完成した施設の利用を通じて来街者へのおもてなしに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> レンタサイクル利用促進事業やまちなか誘客促進事業等ソフト面での取り組み
	残された課題	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業の遅れに伴い、当初の予定通りに実施できなかった事業を含め、歩行者ネットワークの更なる充実に向けて、引き続き整備を進める必要がある。 まちなかの新たな交流拠点として期待される中央公園やえちぜん鉄道高架下の広場は、予定されている令和6年度の完成に向けて、引き続き整備を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 未完成事業について早急に完成させ、供用を開始させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 市道中央 1-330 号線整備事業、市道中央 1-373 号線整備事業 自転車駐車場整備事業
	新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年3月に開業する北陸新幹線で福井駅に訪れる来訪者を、如何にまちなかの観光や回遊に誘導するかが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線福井開業を迎え、来街者がリピートして福井に来ていただけるよう、まちなかの魅力向上に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 県都まちなか再生事業や魅力あるまちなか創出事業等、民間の建物改築等の設備投資を促すための支援実施
歴史資源を活かした まちなか地区の魅力向上	達成されたこと	<ul style="list-style-type: none"> 福井駅から福井城址を介して養浩館に続く歩行者動線の高質化が一部完成した。 養浩館のライトアップやグリフィス記念館での催しなど歴史資源を活かした取り組みが行われ、歴史資源の周知や賑わいの創出につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史資源を結ぶ回遊散策を楽しんでいただけるよう自ら情報発信するとともに、官民連携してイベントを企画する。 	<ul style="list-style-type: none"> レンタサイクル利用促進事業やまちなか誘客促進事業等ソフト面での取り組み
	残された課題	<ul style="list-style-type: none"> まちなかの歴史資源を結ぶ歩行者動線の高質化が一部未完成であるため、引き続き整備を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの完成に向けた取り組みを継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 福井城址周辺整備事業
	新たな課題	—	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の主体的な活動を促しながら、歴史を感じる空間を整備し、歴史資源を活かした回遊性の向上に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 三秀公園整備事業 寿公園整備事業
まちなか地区における 生活機能の確保	達成されたこと	—	—	—
	残された課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年春にオープンする福井市立図書館、地域交流センターについて、豊かな暮らしや文化、地域社会の発展へ持続的に寄与するよう、利用の促進や運営における市民参画などに取り組む必要がある。 	—	—
	新たな課題	—	<ul style="list-style-type: none"> 以前料亭街だった浜町エリアの再生、ブランドの復活に向け官民が連携して取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 灯のまちづくり事業 「和モダン」のまちなみ形成に寄与する民間の建物改築や新規建築に対する支援